



左上下：花見会の様子
右：敬老会の様子



新山自治会
26世帯 57人



新山自治会 会長
石坂 久夫さん
Hisao Ishizaka

小規模を活かしたアットホームな自治会に

新山自治会は、尾去沢中学校周辺とその東側の高台にある住宅地で構成されています。もともと2つの自治会でしたが、平成15年頃に合併し、活動しています。自治会活動は以前の「若者会」が、年代を問わず誰でも参加できる「新友会」に体制を変え、積極的に推進活動をしています。自治会では、主にクリーンアップや運動者会による安全啓発活動、毎月のわいわいランチや夏祭りなどを開催しており、4月に行った花見会ではカラオケや歓談などで盛り上がりしました。今年度は、ここ数年コロナの影響でできなかった活動も全て実施する予定で、特に夏祭りは長年続く行事で、大人も子どもも楽しみにしている地域の誇りの一つです。また、当自治会には「新山パークゴルフ愛好会（SPGA）」があり、他地域の人も参加して20年近く活動しています。シーズンには月1回、各地のパークゴルフ場に遠征して親睦を深めています。

今後も少子高齢化により地域内の人口減少が進むと思いますが、小規模な自治会ならではのアットホームな地域づくりを進め、これらの地域行事を継承していきたいです。

法の広場

裏付け



志賀 貴光 弁護士
Takamitsu Shiga

先日、ムツゴロウさんが亡くなりました。会話文と家族の話が多いこのコラム、実は彼の文章のマネです。ムツゴロウさんみたいな弁護士になりたいと思います。彼の著作はほぼ読みました。ただの動物好きのおじさんにも見えますが、本職は作家。何日も寝ないで英語の論文を読みこむような「裏付け」のある人でした。裏付けがあるからこそ、ゾウやヒグマとやりあえたのだと思います。

弁護士の裏付けといえば法律知識や洞察力ですが、依頼者に集めてもらわないといけない裏付けもあります。それが「証拠」です。契約書、借入金、現場写真、録音、メール、DNA、証言してくれる証人など。裁判官は、全てお見通しの神様ではなく、普通の人が、誰から見ても公平な判断をするには、どうしても証拠が必要になります。例えば、誰かに「嫌なこと」をされて怒鳴りたくなる場面ってあります。

すよね。でも、そこで怒鳴ってしまったら、相手を警戒させ、証拠は隠されてしまいます。グッとこらえて、ニコやかに相手の名前や素性を聞き出しましょう。証拠を集めるためにはこの初動がとても大事です。その後、使える法律と有効な証拠が何かを調べ、「嫌なこと」をされた証拠を積み重ねます。もちろん相手には秘密。証拠がそろえば形勢逆転。裁判や交渉が有利になります。粘着質な僕は、相手を泳がせつつ、何年もかけて証拠を集めることもあります。

逆に、証拠を残さないように口先だけで立ち回る人とは関わらないことです。その人は、悪巧みと責任逃れを考えている詐欺師だからです。トラブルを避ける意味でも、普段から簡単な証拠を集める癖をつけましょう。領収書、契約書は必ずもらおう。電話のときは相手の氏名と所属を聞く。写真を撮るなど。そして、集めた証拠は無くさないでください！

法テラス鹿角法律事務所

所在地
花輪字下花輪 50 番地
福祉保健センター内
(2F)

相談受付時間
9 時～17 時 30 分
※要予約

decarbonization
今日から始める脱炭素

6月「環境月間」、6月5日は「環境の日」です

一人一人ができることから

一人一人が環境問題に関心を持ち、より環境に配慮した生活を心がけましょう。その方法として、次のことが挙げられます。

- ・照明のLED化
- ・クールビズ・ウォームビズの実践
- ・冷暖房の設定温度の見直し
- ・食品ロス削減のための工夫

このように、環境にやさしく、脱炭素にもつながる活動が多くありますので、ぜひ実践してみてください。

ごみの不法投棄は犯罪です

4月に実施した市民総参加清掃活動では、たくさんの方からご協力いただいた一方で、ごみの不法投棄が後を絶ちません。空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などのポイ捨ても不法投棄になります。

鹿角の美しい自然環境を守るために、不法投棄はやめましょう。



魅力ある地元企業を紹介 グッジョブ鹿角

株式会社海星 八幡平工場

会社概要

見た目にもおいしい手まり寿司や鹿角産枝豆、きりたんぼ鍋などの冷凍食品を製造販売している冷凍専門の食品工場です。

販路は首都圏が中心で、帝国ホテルや三越伊勢丹、高島屋など国内有数の取引先と直接取引をしているほか、鹿角市のふるさと納税返礼品にも登録しています。秋田県内での販売はほとんどありませんが、贈答用商品もありますので、ぜひお声がけください。

所在地：八幡平字下水沢 86-1
設立：平成2年
代表取締役：佐藤 哲也
電話：30-6055
ホームページ：
<http://www.kai-sei.com>



代表から

私自身、昨年までは東京本社で主に営業活動を行っていましたが、今年からは工場長兼任となり、4月からは新たな仲間を迎え、新体制で皆さんに喜んでいただける商品づくりを目指し、取り組んでいます。

「全員参加の商品作り」をモットーに、心機一転を図り、皆で考え試作・製造した新しいお寿司が早速、高島屋に採用になりました。明るい職場ですので、ぜひ見学にお越しください。



代表取締役
佐藤 哲也さん

新入社員 の会社自慢

冷凍の手まり寿司を作っています。食品衛生や冷凍技術などの勉強会もあり、冷凍食品の知識も深まりました。

